

看護教育のためのオンライン活用エッセンス

授業・研修に使える仕掛け
【Web動画付】

政岡 祐輝, 北別府 孝輔, 山田 修平 ● 編著
池辺 諒 ● 著

B5・頁184
定価:2,860円(本体2,600円+税10%) 医学書院
ISBN978-4-260-05047-0

【評者】西村 礼子
東京医療保健大准教授・看護学

本書には、オンライン活用により学びを実践につなげるためのデザインや具体的な方法・戦略が詰まっている。本書では4つの教育のコアを挙げ、看護教育において、「何をめざすか?」「到達のための方法や工夫や戦略は?」「到達を保証するための学習成果の測定は?」「学習成果のフィードバックは?」を改めて考える機会になる。

看護教育において、明確に定めた学習目標・評価・方略は、学力とめざすべきコンピテンシーに直結する。学習者が到達するための授業設計、人(教職員・学習者・組織)・物・金・技術・時間・情報・自己管理の観点からの教育デザイン検討は必須である。本書は教育デザインを多角的にとらえ、臨床看護の人材育成・看護実践から継続・基礎教育を改善するための道しるべとなる。

序章では、「オンラインの活用」に向けた伸びしろについて書かれている。さまざまなオンラインの方法や教材が登場したが、めざすべき到達点は変わらない。他の媒体・教材同様「何をめざすためのものか?」をとらえた上で、オンラインが持つ魅力と限界を知ることが活用の第一歩である。

1章「知識を届ける」では、授業の構成、長期記憶化・学習効果を高める・学習者のレディネスや理解度を確かめるための方法、実際の授業事例や無料で使用できるツールがまとめられている。2章「思考・コミュニケーションを鍛える」では、読者が最も教育現場で苦戦しているであろう「学習者の状況がわからない」という課題を解決する方法について述べられる。心理

的安全性や集団効力感、エンゲージメント、主体的で深い学び、見える化を高めるための方法が詰まっている。特に、これまでは対面で行われたであろうアクティブラーニングが、オンラインにより効果的に実現できることが示されている。3章「実践につなげる」でも、実技トレーニング、シミュレーションの対面とオンラインの融合、多人数からグループ単位を活用し、本書の特徴でもある「理論に基づいた」説明が豊富である。4章「学びの効果(成果)を測る」では、教育評価とパフォーマンス評価、ピア評価やリフレクションシートなどの活用、評価基準・規準まで具体的に示されている。

本書の魅力はテキスト部分だけではない。付録Web動画では、執筆による実際の教材の説明や授業方法、基本的なPC操作、Word・Excel・PowerPoint・Web会議システム・Googleフォームなどの説明が視聴できるため、今からオンライン活用を始める方も必見である。

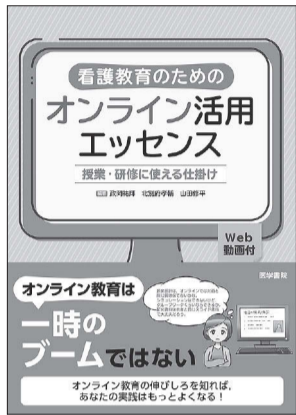
教育のパラダイムシフトにより技術革新や価値創造、情報の批判的吟味やコンピテンシー獲得が求められているが、看護教育の成果は学修成果・看護実践から生み出されるという本質は変わらない。看護教育者は、看護学が生み出す知を科学技術活用により、言語・構造・共通認識化して「教育」「学習」に落とし込み、促進・保障することを今後もめざす。

本書は、「オンライン」という現代社会の特徴を踏まえた看護教育のコアを再考する機会を提供してくれるだろう。

教育のパラダイムシフトにより技術革新や価値創造、情報の批判的吟味やコンピテンシー獲得が求められているが、看護教育の成果は学修成果・看護実践から生み出されるという本質は変わらない。看護教育者は、看護学が生み出す知を科学技術活用により、言語・構造・共通認識化して「教育」「学習」に落とし込み、促進・保障することを今後もめざす。

本書は、「オンライン」という現代社会の特徴を踏まえた看護教育のコアを再考する機会を提供してくれるだろう。

看護教育のコアをオンライン活用により再考する



他者理解を促すためのブックガイド

小川 公代
上智大学外国語学部
英語学科 教授

ケアを行うに当たって、自身とは異なる内面世界を生きる患者=他者を少しでも理解しようと努めることは、大切なアティチュードです。とは言え、他者を理解することも、そうした姿勢を維持することも、なかなか難しいのが実際のところ。本連載で紹介する書籍や物語作品は、他者理解に臨む上でのヒントを与えてくれるはず。気になる作品を見つけたら、ぜひ手に取ってみてください。

第10回 映画『怪物』の語りの構造——『フランケンシュタイン』を手がかりに

是枝裕和監督の最新作『怪物』を観た。学校から帰宅した息子が靴を片方なくしていたり、突然自分で髪を短く切ってしまったらすれば、どんな母親だって心配するだろう。麦野早織は、ある日、暗くなっても帰宅しない息子の湊を探す。彼女は彼の自転車を見つけて、うっそうとした樹木の茂みに分け入っていく。暗いトンネルで「怪物だ〜れだ」と言いながら歩いてくる湊を発見した早織は、ただならぬ状況を感じとる。学校で誰かにいじめられているのではないかと考えるが、まさか彼がまったく別の種類の苦悩を抱えていることになど想像も及ばない。

このように、一人の人間の視点から語られる物語は常に何か大切なものを取りこぼしている。脚本担当の坂元裕二氏がこうした点を映画に取り込もうと思いついたのは自身の経験からだった。

車を運転中に信号待ちをしていて、前のトラックが青信号に変わっても進もうとしなかったことがあるんです。なかなか進まないから僕はクラクションを数回鳴らしたけど、それでもトラックは動かない。ようやく動いたと思ったら、トラックが進んだ後に見えたのは車椅子の方だったんです¹⁾。

この映画には、まさにそういう取りこぼされた他者の視点を取り込み、その他者たちに同じ出来事を語らせることで、違うバージョンの現実が補完される仕組みがある。

作中、同じクラスの男の子・星川依里と親密な関係を築きつつある湊は、周りのホモフォビア的な反応に困惑し、激しい葛藤を抱え込んでいる。担任の保利先生はというと、組み体操でうまく支えきれない湊に「それでも男か」と言ってしまう、ジェンダーロールにとらわれた自身の思考に無自覚な人間である。依里を守ろうとして同級生の持ち物を投げ始める湊の乱暴な振る舞いは、保利先生の目には「怪物」に映ったのかもしれない。湊の母親に至っては、息子の苦しみに気づけないだけでなく、不用意に「どこにでもある普通の家族でいい」と息子に「普通」であることを求めてしまう。

心ない言葉がきっかけで、人の心のなかに「怪物」が宿る。湊が苦し紛れにつくうそは母親に担任の教員の怪物性を信じ込ませ、そして反対に教員の目には、息子を守ろうと闘いを挑んでくる母親こそが「モンスター・ペアレント」と映るのである。いったい誰が「怪物」なのだろうか。

映画『怪物』は、メアリー・シェリーによる小説『フランケンシュタイン』²⁾の巧みな語りの構造を彷彿とさせる。科学者によって生み出された被造物に名前がないのは、私たち読者に「怪物は誰か」という問いを突きつけるためでもある(現在、クリーチャーが「怪物」であると一般的に理解されているのは、ジェイムズ・ホエール監督の怪物像の影響が大きいだろう)。シェリーの小説には、入れ子構造を駆使した書簡体の語りに基づき、科学者の語りだけでなく、クリーチャーが苦しみを吐露する語りも挿入される。科学者がクリーチャーを化け物扱いし、見捨てたことによって、後者が迫害を受けることになった窮状が語られているのである。小説を読めば、科学者(=父親)こそが「怪物」ではないかという可能性が示唆され、差別を受ける被害者が怪物化されてしまう問題にも気づかされる。

『怪物』にも、男の子のことを好きな息子・依里を「化け物」と呼び、虐待する父親・星川清高の「声」が響いている。加えて、少年たち(依里や彼と心を通わす湊)の視点から語られる声も挿入されている。差別を受ける人間の声がなかなか包摂されない問題は、角田由紀子の「性被害にあった女性が『傷もの』(flawed)と呼ばれる文化が日本にはある」という言葉に集約されているだろう³⁾。



- 参考文献・URL
- 『怪物』パンフレット。2023。p22。
 - メアリー・シェリー(著)、芹澤恵(訳)、フランケンシュタイン。新潮社:2015。
 - Mari Yamaguchi. In Patriarchal Japan, Saying 'Me Too' Can Be Risky for Women. 2018. <https://bit.ly/46QKY6g>

安全で効果的ながん化学療法をサポートする心強い相棒!

がん化学療法レジメン管理マニュアル 第4版

がん化学療法で役立つ情報を凝縮したマニュアル、大好評の第4版! 使用頻度の高いレジメンを111本掲載し、それぞれの臨床上のポイントをしっかり解説しました。「支持療法薬を含む投与スケジュール」(医師・薬剤師・看護師がすべきこと)と「副作用の発現時期」(患者に起こること)が1つの表で一目瞭然、概要の把握に便利です。エビデンスに基づく減量・中止規定、具体的な介入事例(症例)の情報もさらに充実しました。

監修 濱 敏弘
編集 青山 剛
池末裕明
内田まやこ
佐藤淳也
高田慎也
土屋雅美



B6変型 頁928 2023年 定価:4,950円[本体4,500円+税10%] [ISBN978-4-260-05028-9] 医学書院

感染症プラチナマニュアル Ver. 2023-2024

8 「はい!」

大きな変更点はありますか?
プラマニユはいつも現場の変化とともに

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の記述を大幅に刷新。新規ガイドライン(敗血症など)と、臨床に直結する新旧の主要論文約150本の情報を更新するなど、Dr.岡+新たな執筆協力者27名の布陣による大改訂。

著 岡 秀昭
埼玉医科大学教授/総合医療センター病院長補佐
総合診療内科運営責任者
感染症科、感染制御科運営責任者

通常版 定価:2,530円(本体2,300円+税10%)
三五変 頁636 図9 ISBN 978-4-8157-3073-4 2023年

Grande版 定価:4,070円(本体3,700円+税10%)
A5変 頁636 図9 ISBN978-4-8157-3074-1 2023年



シン・感染症999の謎

感染症に関わる999問のQ&Aを60章に分け解説、感染症とその診療の「本質」に迫る。

編集 岩田 健太郎

A5変 頁784 図8 写真9
ISBN978-4-8157-3068-0 2023年 定価 6,380円(本体5,800円+税10%)

MEDI S 医療・サイエンス・インターナショナル
113-0033 東京都文京区本郷1-28-36
TEL. (03) 5804-6051 https://www.medsci.co.jp
FAX. (03) 5804-6055 Eメール info@medsci.co.jp